

バーチャル サニーサイドキャンプ 2020

ダニエル・ハヤシザキ

すばらしい 主の御名を賛美致します。
サニーサイドファミリーキャンプ2020は、残念ながら新型コロナウイルスによる規制の為、実際にキャンプサイトで集うことができませんでした。しかし、スタッフ一同の祈りを通して、日本語部は「キャンプ史上”初”となるバーチャル・サニーサイドキャンプを行うことになりました。日本語部のスタッフは、初めての試みにいつも以上に時間をかけ、プログラムをどうするか話し合いを重ね、準備をしました。実際、キャンプ当日にはバーチャルにもかかわらず、例年と同様、もしくは少し多い、約70名の登録者がありました。参加者は、カリフォルニア州、ブリティッシュコロンビア州、アルバータ州にとどまらず、日本からもありました。



プログラムは、簡素化して、Zoomを使い、7月27日(月)から31日(金)の夕方のみとしました。メッセージはカリフォルニアより稲富 祐一郎 先生が「天の御国は…」と言うテーマで、マタイの福音書より5つのたとえ話を取り次いでくださいました。また、Zoomならではの、Braek-Out機能を使い、メッセージの後にフェローシップセッションを設けたり、また、その後に講師への質問ができる「Q&A」セッションを作りました。
この「Q&A」では、メッセージへの質問はもちろんのこと、信仰生活などに関する質問などもでき、とても恵まれたものとなりました。初めは、手探りの状態で始めたバーチャルサニーサイドキャンプでしたが、神さまはZoomを通して、ひとりひとりに働かれ、大きな、大きな祝福の時となりました。5日間のメッセージはYouTubeから見る事が可能です。“CJM Sunnyside Camp”でお探し下さい。 主にありて、*

ニューノーマルを受け入れる

CJM理事長 ノリ・カナシロ

2020年はとても平穏に始まりましたが、水面下では私たちの生活を劇的に変えてしまう恐ろしいことが起こっていました。私たちは今、地球上のすべての国を襲った悲惨なCOVID-19パンデミックの8か月目に突入しています。誰もその影響を受けずにいることはできません。子供から高齢者まで、みんな自分の日常生活がどう変わってしまったのかを語れます。個人的、また家族、社会や仕事におけるあらゆる面で何らかの影響を受けています。誰もが「いつになったら普通の生活に戻れるのだろうか。」という疑問を持っているのです。

最近のインターネットの投稿で、カナダ保健省の最高責任者であるテレサ・タム氏が、「今年の1月以前の生活に戻ることはないでしょう。」と述べていました。ほかにも同じような意見の専門家があります。たいていの人はこのようなことを聞きたくありませんでした。私たちは、自分に課せられた変化を容易には受け入れません。しかし、よく考えてみると、社会的な行動においてであれ、個人的な霊的態度においてであれ、「普通」から逸脱するとき、変化するための挑戦を簡単には受け入れがたいのです。

「ニューノーマル」がどのようなものであるかは、あまり明確ではありません。聖書の中で、神様は根本的な変化について語られていますが、それは私たちが個人的にイエス・キリストに出会い、救い主として受け入れる時こそが「ニューノーマル」と呼べる根本的な変化なのです。コリント人への手紙の中でパウロは、イエス・キリストにおける信仰によって神の子どもとなる時に私たちが個人的に経験することに言及し、「古いものは過ぎ去り、新しいものがここにある。」と書いています。神様は、この新しいいのちが一人一人の人生において、「ニューノーマル」になることを望んでおられます。この根本的な変化こそ、受け入れ応じる必要のある神様との霊的な出会いなのです。*

2020—2021年度のCJM理事会メンバー

| | |
|----------------|--------------|
| 荒木 泉 | バンクーバー (BC) |
| ピーター・チャオ | トロント (ON) |
| 榎 実牧師 | キャンモア (AB) |
| 福道徹也牧師 (副理事長) | バンクーバー (BC) |
| マリー・ドゥアビス (書記) | トロント (ON) |
| 堀内友幸牧師 | カルガリー (AB) |
| マーク・ホシザキ (会計) | カルガリー (AB) |
| ノリ・カナシロ (理事長) | トロント (ON) |
| 村井優人牧師 | トロント (ON) |
| 小笠原智仁 | ウィニペグ (MB) |
| トニー・シュミット牧師 | バンクーバー (BC) |
| バレリー・セコード | ビクトリア (BC) |
| ティム・シゲミツ | エドモントン (AB) |
| ケビン・ウエタ牧師 | トロント (ON) |
| 吉野治代 | モントリオール (PQ) |

CJMへの献金

オンライン献金はカナダ・ヘルプス
CanadaHelps.org
を通して受け付けています。
CJMのウェブサイト**www.CJMin.com**
をご覧ください。

郵送する場合：
Canadian Japanese Ministries
PO Box 92124
Scarborough ON M1W 2S0

グレースポイントフェローシップ

カルガリー日系人福音教会 英語部

2203-15A St. S.E., Calgary, AB
日曜礼拝: 午前10時より
ブライアン・ラベンダー牧師(英語)
403-606-5483 brianlav@me.com
www.calgaryjapanesegospel.com



ブライアン・ラベンダー牧師

グレースポイント・フェローシップとカルガリー日系福音教会より、CJMの家族や友人の皆さまへ。皆様の教会へ、神の恵みと平安がありますように！ コロナウイルス大流行のこの7ヶ月間は、教会にとって前例のない時期でした。多くの皆さまにとっても、挑戦や新たな機会の時であったことと思います。私たち教会家族にとっても変化と学びの時でしたが、この危機のさなかにも、教会家族の上に神の業と祝福を見ることができました。私たちが、信仰を共にするコミュニティーとして成長し続けることができたことは祝福です。オンラインを使い、最初はYouTubeを通して、そして後に毎週日曜のストリーミングによる礼拝の提供が可能になったことも祝福でした。

ユース、青年、ホームグループ、そして聖書研究会や祈り会などが、ズーム・ミーティングにより可能になったことも祝福でした。

最初の数ヶ月は、オンライン上での礼拝でしたが、7月より私たちは教会建物での礼拝に戻りました。教会での集会に戻るにあたり、私たちは衛生や安全について学び、新たなプロトコルを導入し、コロナウイルス流行の中での礼拝という新たな挑戦を体験しました。これまでのメンバーが一堂に会する礼拝から、50人までの二つのグループに分かれての礼拝を行うことにより、社会的距離を保ち、礼拝後には座席やドアノブなどを消毒し、必要に応じてプレキシガラスのパーティションを使い、可能な限りの安全を保てるようにしました。これらの全ては新しい挑戦でしたが、教会を可能な限り安全に保つための手段の導入を、献身的な教会メンバーたちが手伝ってくれたことに感謝しています。特にこのような時期、お互いを支え、祈り合うことを忘れないようにと願い祈ります。

「愛と善行とを励むように努め、ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互いに励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。」へブル人への手紙 10章24-25節 *

エドモントン日系キリスト教会

9802-76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5
(Zion Baptist Community Church にて)
日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)
田村寿宏牧師 電話: 587-986-8161
Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com
教会HP: www.ejcc.ca



田村寿宏牧師

主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の御名を賛美します。新型コロナウイルスの本格的な感染拡大が始まってから半年以上が過ぎました。米東部フィラデルフィアにて約2年半牧会をさせて頂いたことがあります。その時に知り合った方々や、そのご家族の中にも今回亡くなられた方がおり、とても胸が痛みます。まずはお亡くなりになった方々、罹患された方々に心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。EJCCでは3月15日以降、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、すべての礼拝および集会を休止しました。翌週22日の日曜礼拝は各自各家庭にて守って頂きましたが、3月29日以降はオンラインにて礼拝を再開し、その後祈禱会も同様に再開することができました。

現在もオンラインにて礼拝および各集会を継続中です。オンライン礼拝には勿論、様々な制限や問題もありますが、同時に多くのメリットもあることを発見できたことは主の恵みでした。まずは仕事や進学、結婚等で遠方に引越しをされた方々や、近くに日本語の教会がない方々とオンライン礼拝を通じて再会し共に礼拝を捧げることができるようになりました。また病気や体力的な問題で物理的に教会に通うことが困難な方々も、オンラインであれば自宅から交わりに参加することができます。一方、オンラインにアクセスできない方々や新来会者の方にどのように対応するのかという課題もあります。物理的な集会を再開するにしても感染予防のために様々な制約があり、以前と同じ状態に戻るわけではありません。そのような制約の中で上記の課題をどのようにクリアしていくのか祈りつつ模索中であります。新型コロナウイルスの世界的大流行は、これまでの教会の在り方や常識を覆す一方、永遠に変わらないもの、私たちが本当により頼むべきものは何かというのを改めて私たちに気付かせてくれたのではないのでしょうか。この大きな試練と暗闇の中で、キリストの体なる教会がまさに世の光、地の塩となることができますように、それぞれの教会のミニストリーの上に主の豊かな導きと祝福がありますようにお祈りいたします。*

トロント日系福音教会

301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
 教会電話: 416-335-5428
 日曜礼拝: 午前11時より(日英両語)
 日本語ミニストリー: infojp@jgct.com
 ケビン・ウエタ牧師(英語) 647-298-6422
 Website: www.jgct.com



ケビン・ウエタ牧師

オンタリオ州首相のダグ・フォード氏が、Covid-19のため非常事態宣言を出したのは今年3月17日でした。その時から、私は教会の今後について考え始めました。当初は一時的な状況に過ぎないだろうと思いましたが、時が経つにつれ、いったいいつ「普通の生活」に戻れるのだろうか、どれほどこの嵐を耐え忍ばなければならないのかと思いました。神と神の主権に対する私の見解は、状況とともに衰退していき、個人的に苦悩を感じていました。

エペソ人へ宛てたパウロの手紙3章10—11節を読んだ時、それは、教会に対する神の御意志であり、すべてはイエスにあって実現された神の永遠の目的に沿うものである、ことを思い出しました。つまり、神の目的は永遠である！どんな状況や困難があろうとも、神は偉大で神に乗り越えられない障壁はなく、神の御心と目的も同様であることを思い出しました。私たちは、教会を通して神の多様な知恵と栄光が世の中に現わされるためには、どのように仕えていくべきか常に神に求めていく必要があります。私は、神の教会への新たなビジョンを求め祈りました。私は、神は今まで以上に、私達に神の証人として、世の中に福音を伝えていくよう導いていると感じています。

我が教会では、キリストにある健全なリーダーと弟子づくりの文化を發展させ、神から与えられたビジョンを築いていく新たなイニシアチブを始めました。私たちが、神により積極的に関わり、従順に神の御心を求め歩いていけるよう願っています。今後もCJMの会員や教会の皆さんのためにお祈りします。皆さんもJGCTのこれからの歩みのために一緒にお祈り下さい。*

クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB
 (Westview Baptist Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より
 谷口洋一牧師 電話: 403-455-0074
 Eメール: ymtaniguchi@hotmail.com
 www.crossoverjapanesechurch.com



谷口みゆき師

今年3月15日より、会堂をお借りしているWestview教会がOnline worship Serviceになったのをきっかけに、私達の教会もOnline 礼拝に変わりました。Zoomによるライブ礼拝とそれぞれがそれぞれの時間にメッセージを聴くというビデオ礼拝を交互に行っています。Bible study、祈り会、青年会など、すべてZoomでの集いになりました。Sunnyside CampもOnlineでした。

今年の講師は、LAの稲富先生でした。先生の5回に渡る「神の国シリーズ」のメッセージに大変恵まれました。

自宅隔離により、私達は、個人的にもっと主と交わる時間が取れるようになりました。また、YouTubeでのメッセージの配信により、会堂礼拝の時より、より多くの人たちに福音メッセージが届けられるようになりました。Online礼拝では、日本に帰った人たちも礼拝に参加してくださいました。最大の恵みは、このコロナ隔離の間に、3人の洗礼者が与えられたことでした。家庭の風呂場でのささやかな洗礼式でしたが、聖霊様のご臨在を強く感じる事ができた洗礼式でした。

9月末より、会堂での礼拝が始まります。ばらばらになっていた私達ですが、主において一致した教会を目指して、再出発したいと願っています。*

バンクーバー日系福音教会

425-11th St., New Westminster, BC V3M 4G1
 日曜礼拝 午前11時より(日本語/英語)
 福迫徹也牧師(日本語部) 604-521-7737
 jjpgospelchurch@gmail.com
 Website: www.japanesegospelchurch.com



福迫徹也牧師

新型コロナにより私たちの教会は3月からロックダウンに近い状態となり、ほとんどの活動がオンラインになりましたが、オンラインによる礼拝、祈り会、スモールグループの集まりが毎日のように行われています。教会スタッフを中心に電話やメールなどで教会員がお互いに個人的にコンタクトを取り、祈り合うようにしています。このことを通して、建物の教会には来ることは出来なくても、一人ひとりが教会であるキリストのからだの各器官であることを自覚し、主にある交わりから離れないよう願っています。政府の規制緩和に応じて、7月から50人以下の礼拝を11時と1時から、9月から9時半からの礼拝と教会学校を再開しました。

このような状況の中で2人の人が救われ、1人が洗礼を受け、もう1人は洗礼準備会を受けていること、入会希望者も数人と与えられていること、未信者の人たちが礼拝につながっていることなども主の恵みであり、大変、感謝はことです。主は確かに生きておられ、キリストのからだである教会と共に働いておられます。ハレルヤ！一方、今年に入ってから、3人の教会員の方々が天に召されました。また、現在、健康を害している方々、仕事を失った方々、先のことによって不安を覚えている人たちもたくさんいます。しかし、この先、どうなるだろうとも、新型コロナは一時的なものでいつかは終わります。それは、私たちのこの地上のいのちも同じです。そして、私たちは主イエス・キリストにあって救われ、天国での永遠のいのちが約束され、キリストのからだである教会の一部となっています。私たちは主を避け所とし、主に信頼し、主を救いを覚えて歩んで行きたいと思えます。*

ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC
(First Baptist Churchにて)
日曜礼拝：午後1時30分より
Eメール: ymishiguro@shaw.ca
石黒豊牧師 778-265-6092
www.vicjapanesechurch.com



石黒豊牧師

素晴らしい主の御名を賛美致します。

3月より新型コロナウイルス拡散の為に世界中が戸惑い多くの試みが行われました。カナダも例外にもれず、多くの方がウイルスに感染され、苦しまれています。その中で教会としても州政府、連邦政府の指示により今まで経験した事の無い体験をいたしました。ウイルス拡散の中、ビクトリア日系人教会も礼拝式、祈祷会、諸集会も祈りつつ、主から知恵を頂き今日まで欠かさず歩む事ができましたのは、主の大きな導きと、豊かな励ましと教会に集う一人一人、主に心より

感謝しています。

3月22日の聖日礼拝から礼拝方式が変わり、インターネットを利用してメールで行いました。特にユーチューブの中にある素晴らしい賛美をシェアさせて頂き、美しい画像と共に新しい賛美の在り方をたっぷり体験させて頂き、今まで見た事、聞いた事の無い恵みと祝福溢れる賛美を毎回礼拝にて多く聞き、主の素晴らしさを味わう事ができました。コロナウイルスの幸い中、主が哀れんで下さり、主が与えて下さった恵みの一つだと感謝しています。また6月21日の聖日礼拝より教会堂にて通常の集まったの礼拝を行う事が赦されました。敬愛する方々とお会いし、共に賛美し、礼拝を捧げる事が出来る恵みがいかに素晴らしいかと言う事を再確認いたしました。都合で来られない方々の為にZoomにてライブで各家庭においても礼拝を持つことが出来ています。時に、日本からも、他の国からも、礼拝に参加して下さい、共に主を礼拝出来ています事を感謝しています。まだ現在も注意しつつ、Zoomも利用し、多くの規制のある中、主に望みを置いて主に信頼、寄り頼み進んで行きたい一同お祈りしています。*

グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB
(Banff Full Gospel Churchにて)
日曜礼拝：午前9時より
榎実牧師 403-707-6132
Eメール: banffgjcc.enoki@gmail.com



榎実牧師

愛するCJM諸教会の皆様 主の御名を賛美し讃えます。

グレースチャーチでは3月から6月まで牧師館からのオンライン礼拝配信を行い、7月初めの主日礼拝より会堂での礼拝が再開されました。カナダへの入国規制に伴い観光客も例年に比べ激減し、観光地とは思えないほどの閑散とした光景が街中では見られますが、このような状況下にあっても主への渴きをもって毎週礼拝に来られる兄弟姉妹の姿に励まされています。コロナ禍における証の一つとしてこの数ヶ月感じさせて頂いていることは、人間側の働きが止まる中であって主の働きは前進し続けるということでもあります。

当初、グレースチャーチも多くミニストリーを中断せざるえない状況がしばらく続き、教会としても戸惑いを感じる時期もありました。しかし、神の民が主の前にひざまづき祈る時、主がご自身の働きを押し進める恵みを体験しました。Zoomでの早天祈祷会にも多くの方が集われていることもその恵みの一つであります。また、オンラインでの礼拝を通して普段礼拝に集えない方々や地域の未信者方が礼拝に参加してくださったり、未信者の家族を抱える信徒の方々が家で礼拝を捧げることにより、家族全員が賛美と御言葉に触れる時間が与えられる等、兄弟姉妹からも多くの証が寄せられました。他者との距離感の配慮など「伝道が難しいシーズン?!」とも感じさせる時期ではありますが、礼拝が再開されてからも未信者家族が礼拝に毎週参加してくださっていることも私たちにとって大きな励ましとなっています。

主の守り中で、引き続き礼拝が守られ、このような時でしか見ることできない神様の不思議な業とするしがボウバレーの地にも益々起こされてきますようにお祈りください幸いです。そして、主の同じ業がCJM諸教会の上にも起こされていることを信じバンフの地よりお祈り捧げています。*

モントリオール日系キリスト教集会

Peoples Church 地下にて
2097 Union Ave., Montreal, QC
集会：毎月第3日曜午後2時より
フェローシップ/イベント：毎月第1日曜
吉野治代 514-342-8509
montrealjapanesechristian@gmail.com



吉野治代師

この6ヶ月間は色んな意味で試練の時でしたが、神様は素晴らしい事をなさっておられます。今年3月にパンデミックが始まってから、全てオンラインで活動を続けています。月2回、バイブルスタディ、インタビュー、交際セミナーなどで集まっています。普段は夏の間は休みをとっていますが、今年は夏もミーティングを続けました。オンラインで自宅から参加できるため、普段よりも参加者が増えたことに感謝です。メンバーの多くは若い独身で、この孤立した生活に非常な寂しさを感じていたため、私達の集まりはとても大切な時間だったようです。

5月から毎週、オンラインで祈りの時間を持つようになりました。私たちの祈りが聞き入れ、祈りの大切さを更に感じさせられています。フェイスブック、メッセージのグループチャットもメンバーが繋がれる良いプラットフォームになっています。メンバーの何人かの霊的成長を見ることができ、大きな励ましになっています。もうすぐリーダーの二人(夫婦)に初めての赤ちゃんが生まれます！彼らはしばらくリーダーの責任から離れなくてはならないため、新しいリーダーが必要です。若いリーダーが育成されるようお祈りください。子育ての会もオンラインで集まっています。子供たちの学校が閉鎖され、お母さんたちは子供たちの世話をしなければいけなかったため、始めはオンラインで集まることに不安を感じていました。しかし、オンラインでもお母さんたちは引き続き参加され、更に素晴らしいことが起こりました。オンラインであるため、カナダ、アメリカの色んな都市からも参加される方が出てきました！パンデミックの前はクリスチャンでないお母さん方だけでしたが、モントリオール外から参加されているお母さん方は、ほぼ全員クリスチャンです。クリスチャンのお母さん方が子育てを通した証をして下さり、神に感謝です。クリスチャンの証がクリスチャンでないお母さん方の心に通じるようお祈りください。*

ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9
(Trinity Baptist Churchにて)
日曜礼拝：午後2時より
小笠原都子—リーダー
winnipegjapanesechurch@gmail.com



小笠原都子師

2020年がこのような年になるとは誰が想像したでしょうか。WJAC（ウィニペグ日系アライアンス教会）が礼拝や集会を中止して7か月が過ぎようとしています。ちょうどイースターをもうすぐ迎えようとしていた3月中旬にマニトバ州の非常事態宣言を受け、皆で話し合っただけで礼拝や集会の中止を決めました。その後学校や公共施設、飲食店などが次々と閉鎖され、私もCOVID-19という未知のウイルスに対する不安を抱えながらエネルギーを持って余している子供と共に一日中狭い家

で過ごす毎日、教会の皆さんに連絡をする余裕がありませんでした。そのような中、特にシニアの皆さんから時折お電話やメールで連絡をいただき、「いつも祈っているからね」と言ってくれ、それがどれだけ大きな慰めと励みになったか身を持って知ることができました。またある時は教会の姉妹から心のこもったカードを送っていただくこともありました。教会の皆さんに送ったようで、カードを開けた時の皆さんの笑顔を想像し、教会が再開し皆さんに会える日を心待ちにしていました。ロックダウンが功を奏したのか、マニトバ州は感染者が徐々に減っていき、9月には教会を再開することができるかもしれないと希望を持ち始めた矢先、8月に入ってから再び感染者数が増加し、9月に入ってもその数は増える一方で、残念ながら9月に教会を再開できる状況ではなくなってしまいました。これから長く寒い冬を迎え、今まで以上に厳しい日々になることが容易に想像できます。私が皆さんからしていただいたように、私にも何かできることはないか、祈りつつ行動していきたいと考えています。*

カルガリー日系人福音教会

2203-15A St. S.E., Calgary, AB
日曜礼拝：午前10時より
堀内友幸牧師（日本語）
電話：587-434-1783
tomhoriguchi@hotmail.com
www.calgaryjapanesegospel.com



堀内友幸牧師

カルガリー日系人福音教会は2020年4月よりZoom礼拝を午前10時に毎週日曜日に持って来ました。そして2020年9月から日曜礼拝を教会とZoomで月に1回持っています。毎週日曜日にお互いに会うことは出来ないのですが、Zoomミーティングで週2回お互いの顔を見る事ができることは感謝です。そして毎週日曜日のメッセージをユウチューブ：<http://calgaryjapanesegospel.com/wp/> に載せる事ができ、

教会員だけに止まらず、他の地域におられる日本人にもメッセージを見る事ができることを感謝しています。

Gracepoint fellowship英語部は2020年6月から毎週日曜日礼拝を教会で持っています。そして教会学校も2020年10月4日より教会で持つ予定です。

「あなたがたを、つまずかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に25 すなわち、私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン」（ユダの手紙24節、25節）。

全世界が良き知らせ「如何に神があなた方をこれから先どのような中でも守る事ができるお方であること」を知る事が出来ますようにお祈りしています。主の祝福が全ての人に在りますように。*

グレーストロント日本語教会

20 Glebe Road East, Toronto ON, M4S 1N6
日曜礼拝：午後1時30分より
村井優人牧師 416-789-1902
masmurai@gmail.com
www.facebook.com/userGTJC



神さまに感謝！

村井優人牧師

この9月は、CJMの年次総会、続く定例会で、皆さまにお会いでき、コロナの中でも主に守られていることを確認でき、嬉しい思いでした。さて、当教会報告ですが、2020年3月中旬から、教会は閉鎖となり、9月13日から、ようやく礼拝の再開に至り、顔と顔を合わせての礼拝の良さを実感しました。一方、閉鎖中、ソーシャルメディアを用いての主にあるお交わりが日曜日に開始したことは、大変な恵みの時となったことも事実です。私たちは、礼拝はライブ・ストリーミングにできなかった分、ズームでのお交わりと祈りの時にしたのです。これほどよい、また深い交わりの時はなかったのです。これは、教会再開に伴い、水曜夕方に移行されて継続中です。

一方、ミニストリーの一環と位置づけしている、「こども園チャイルドケア」は、トロント・ダウンタウンにある公認保育園として、2012年9月から、ノックス長老教会にて働きを開始して来ましたが、それが、このコロナで閉鎖され、可愛らしい子供たちの世話ができなくなったことは、寂しいものでした。それでもこの6月末、こども園保護者ご家族によるリユニオンの時を持ち、親交を温めたことは素晴らしいひと時でした。この9月に少人数で再開されました。

最後に、過去2年の報告ですが、2回の幼児洗礼と1回の成人洗礼に恵まれました。当教会は、長老教会です。ウエストミンスター信仰基準を信条としています。幼児洗礼がなされますが、強制ではありません。旧約創世記に出て来るアブラハムとの祝福の契約から、今でも子孫への祝福を、幼児洗礼のかたちで表現しています。多くのこどもたちが、その親の皆さまを通し、主イエス＝救い主＝にある、祝福のめぐみに預かるべく、祈っています。

コロナは、教会の家族を含め、「家族」のつながりを強めてくれるものです。サクラダ・ファミリアである三位一体の神に、ますます似る私たちでありますように祈ります。

感謝とともに、*